

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1年後期	1	2	選択
担当教員			
新村 文祥			
添付ファイル			
講義概要	アイデアやデザインなどの思考および伝達に必要なスケッチテクニックの習得を目的とする。立体の観察と描画を通じて、デザイン行為に必要な形態や質感を適切に表現する手法、かたちの成り立ちと空間を理解、さらには人と物の関係考察の習得をおこなう。使用画材の理解と立方体、円柱、球体など基本形体の把握、質感表現、実際の建築物外観や室内を描画の対象とする。		
授業計画	1 基本形体１・・・立方体デッサン ンデッサンについての説明 (AL③) ・立方体スケッチ演習 ・発泡スチロールの立方体をスケッチブックにデッサン ① スケッチブック 鉛筆デッサンの道具 ② デッサンについての解説プリント 立方体スケッチ演習プリント ☆予習 家庭課題１・・・スケッチブックに鉛筆のグラデーション制作 (2h) (AL④) ☆復習 授業課題の立方体デッサンを加筆し完成させる (スケッチブック) (1h) (AL③) 2 基本形体２・・・円柱デッサン 立方体デッサンとスケッチ課題の評価と講評 (AL③とAL④) ・円柱スケッチ演習 ・発泡スチロールの円柱をスケッチブックにデッサン ① スケッチブック 家庭課題クロッキー帳 鉛筆デッサンの道具 ② 円柱スケッチ演習プリント ☆予習 家庭課題２・・・クロッキー帳に文房具のスケッチ制作 (1.5h) (AL④) ☆復習 授業課題の円柱デッサンを加筆し完成させる (スケッチブック) (1.5h) (AL③) 3 基本形体３・・・球体デッサン 円柱デッサンとスケッチ課題の評価と講評 (AL③とAL④) ・球体スケッチ演習 ・発泡スチロールの球体をスケッチブックにデッサン ① スケッチブック 家庭課題クロッキー帳 鉛筆デッサンの道具 ② 円柱スケッチ演習プリント ☆予習 家庭課題３・・・クロッキー帳に室内風景のスケッチ制作 (1.5h) (AL④) ☆復習 授業課題の球体デッサンを加筆し完成させる (スケッチブック) (1.5h) (AL③) 4 質感表現１・・・直方体の木デッサン 球体デッサンとスケッチ課題の評価と講評 (AL③とAL④) 質感表現 ポイント解説 ・木の質感演習 ・直方体の木をスケッチブックにデッサン ① スケッチブック 家庭課題クロッキー帳 鉛筆デッサンの道具 ② 木のスケッチ演習プリント ☆予習 家庭課題４・・・クロッキー帳に外の風景のスケッチ制作 (1.5h) (AL④) ☆復習 授業課題の直方体、木のデッサンを加筆し完成させる (スケッチブック) (1.5h) (AL③)		

5	質感表現 2・・・リンゴ 木のデッサンとスケッチ課題の評価と講評AL③とAL④) 木の質感講評 質感表現 ポイント解説 ・リンゴの質感演習 ・リンゴをスケッチブックにデッサン ① スケッチブック 家庭課題クロッキー帳 鉛筆デッサンの道具 ② リンゴのスケッチ演習プリント ③ リンゴ ④ 家庭課題水彩演習プリント配布 ☆予習 家庭課題 5・・・スケッチブックに水彩色鉛筆と水彩演習の制作 (2h) (AL④) ☆復習 授業課題のリンゴのデッサンを加筆し完成させる (スケッチブック) (1.5h) (AL③)
6	紙の立体構成とデッサン リンゴのデッサンとスケッチ課題の評価と講評 (AL③とAL④) 紙立体構成のポイント解説 ・紙立体の制作 ・紙立体をスケッチブックにデッサン ① スケッチブック カッター はさみ 糊 鉛筆デッサンの道具
7	☆予習 家庭課題 6・・・クロッキー帳に家具のスケッチ制作 (1h) (AL④) ☆復習 紙の立体構成デッサンを加筆し完成させる (スケッチブック) (2h) (AL③) 水彩演習・・・与えられた建築パーススケッチの模写 ① 紙の立体構成とスケッチ課題の評価と講評 (AL③とAL④) 建築パース画における水彩用具と水彩色鉛筆の使い方、模写解説 ・建築パーススケッチ下描き ① パース画の印刷 スケッチブック 家庭課題クロッキー帳 水彩と水彩色鉛筆、鉛筆デッサンの道具
8	☆予習 家庭課題 7・・・クロッキー帳に野菜果物のスケッチ制作 (1h) (AL④) ☆復習 模写の下描き、線描までする (スケッチブック) (2h) (AL③) 水彩演習・・・与えられた建築パーススケッチの模写 ② スケッチ課題の評価と講評 (AL④) ・建築パーススケッチ模写の彩色 ① スケッチブック 家庭課題クロッキー帳 水彩と水彩色鉛筆、鉛筆デッサンの道具
9	☆予習 家庭課題 8・・・クロッキー帳に加工食品のスケッチ制作 (1h) (AL④) ☆復習 模写を彩色し完成させる (スケッチブック) (2h) (AL③) 建築学科棟 外観スケッチ ① 建築パース画模写とスケッチ課題の評価と講評 (AL③とAL④) 建物外観のスケッチポイント解説 ・建築学科棟外観スケッチの下描き ① A3ホワイトワトソンボード 家庭課題クロッキー帳 水彩と水彩色鉛筆、鉛筆デッサンの道具
10	☆予習 家庭課題 9・・・クロッキー帳に顔のスケッチ制作 (1h) (AL④) ☆復習 ホワイトワトソンボードに外観下描きの完成させる (2h) (AL③) 建築学科棟 外観スケッチ ② スケッチ課題評価と講評 (AL④) ・建築学科棟外観スケッチの彩色 ① A3ホワイトワトソンボード 家庭課題クロッキー帳 水彩と水彩色鉛筆、鉛筆デッサン用具 ☆予習 家庭課題 10・・・クロッキー帳に乗り物のスケッチの制作 (1h) (AL④) ☆復習 ホワイトワトソンボードに外観彩色の続きの制作する (2h) (AL③)

	11 建築学科棟 外観スケッチ ③ スケッチ課題の評価と講評 (AL④) ・建築学科棟外観スケッチの彩色 ① A3ホワイトワトソンボード 家庭課題クロッキー帳 水彩色鉛筆、鉛筆デッサン用具 ☆予習 家庭課題 1 1・・・スケッチブックに動物のスケッチ制作 (1h) (AL④) ☆復習 ホワイトワトソンボードに外観彩色完成させる (2h) (AL③) 12 建築学科棟 内観スケッチ ① 建築外観スケッチとスケッチ課題の評価と講評 (AL③とAL④) 建物内観のスケッチポイント解説評価と ・建築学科棟内観スケッチの下描き ① ホワイトワトソンボード 家庭課題クロッキー帳 水彩と水彩色鉛筆、鉛筆デッサン用具 ☆予習 家庭課題 1 2・・・スケッチブックに花のスケッチ制作 (1h) (AL④) ☆復習 ホワイトワトソンボードに内観下描き線描まで制作する (2h) (AL③) 13 建築学科棟 内観スケッチ ② スケッチ課題の評価と講評 (AL④) 建築学科棟の内観をスケッチ彩色 ① A3ホワイトワトソンボード 家庭課題クロッキー帳 水彩と水彩色鉛筆、鉛筆デッサン用具 ・建築学科棟内観スケッチの彩色 ☆予習 家庭課題 1 3・・・クロッキー帳に樹木のスケッチ制作 (1h) (AL④) ☆復習 ホワイトワトソンボードに内観彩色の続きを制作する。 (2h) (AL③) 14 建築学科棟 内観スケッチ ③ スケッチ課題の評価と講評 (AL④) ・建築学科棟内観スケッチの彩色 ① ホワイトワトソンボード 家庭課題クロッキー帳 水彩と水彩色鉛筆、鉛筆デッサン用具 ☆予習 未完成作品の確認 ☆復習 ホワイトワトソンボードに内観彩色の完成 (3h) (AL③) 今までの課題未完成作品の制作 15 外観・内観スケッチの講評・評価 基本形体の演習 スケッチ内観外観の講評 デッサン総評 (AL③) 内観スケッチまでの評価済であれば。基本形体演習・・・基本形体を様々な角度から描く ・基本形体の演習プリントの補助線を利用しながら、 立方体や円柱などの基本形体を様々な角度から形や陰を描く ① スケッチブック、クロッキー帳の未提出課題があれば提出		
授業形態	・講義 ・実技演習 ・作品講評 アクティブラーニング ① 0回 ②0回 ③10回講評会 (AL③) ④13回家庭課題 (AL④) ⑤ 0回 ⑥ 0回		
達成目標	・デッサンの基礎を理解する (基礎) ・立体の構造とパースを基にした空間の把握 (標準) ・建物外観、内観やそれらに付随する要素などを簡単なスケッチ描画ができるようになる (応用)		
評価方法・フィードバック	・授業課題作品 (60%) とスケッチ課題作品 (40%) は各課題の講評後に評価をし、次課題に向けて結果をフィードバックする。		
評価基準	<table border="0"> <tr> <td>秀 (1～6) : 90点以上 優 (1～5) : 89～80点、 良 (1～4) : 79～65点、 可 (1～3) : 64～60点、 不可 : 59点以下</td> <td>立体、空間、描画表現力が優れている、 ある程度デッサンを理解し表現できている 形がある程度描くことができる 必要な提出作品は満たしている 作品の未提出および欠席が多い</td> </tr> </table>	秀 (1～6) : 90点以上 優 (1～5) : 89～80点、 良 (1～4) : 79～65点、 可 (1～3) : 64～60点、 不可 : 59点以下	立体、空間、描画表現力が優れている、 ある程度デッサンを理解し表現できている 形がある程度描くことができる 必要な提出作品は満たしている 作品の未提出および欠席が多い
秀 (1～6) : 90点以上 優 (1～5) : 89～80点、 良 (1～4) : 79～65点、 可 (1～3) : 64～60点、 不可 : 59点以下	立体、空間、描画表現力が優れている、 ある程度デッサンを理解し表現できている 形がある程度描くことができる 必要な提出作品は満たしている 作品の未提出および欠席が多い		
教科書・参考書	基礎から学ぶ空間デッサン 石川聡著 岡田浩志著 エムデイエヌコーポレーション出版		
履修条件	デッサンを必要もしくは興味のある学生		
履修上の注意	・各課題で、描画面材 (鉛筆、練消しゴム、水彩色鉛筆、水彩絵の具など)、作図用具 (定規、コンパス、など)、工作用具 (カッター、鋏、接着剤、など) 支持体 (スケッチブック、クロッキー帖、A3ホワイトワトソンボード) を使用する。 ・授業内の課題を提出することと、毎週、与えられた題材のスケッチ課題 (授業外課題) を提出する。		
準備学習と課題の内容	・スケッチ課題をかならず授業最初に提出すること。 ・授業での各課題は、講評時に提出すること。		

ディプロマポリシーとの関連割合 (必須)	知識・理解:15%, 思考・判断:15%, 関心・意欲:10%, 態度:10%, 技能・表現:50%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	